

安全データシート

1. 化学品および会社情報

化学物質等の名称	3-ニトロベンゼンスルホン酸ナトリウム (Sodium 3-nitrobenzenesulfonate)
製品名	メタニトロベンゼンスルホン酸ナトリウム
整理番号	ZC17004-04
会社名	善ケミカル株式会社
住所	東京都台東区台東2-30-2 善ビル3階
電話番号	03-3839-5861
緊急時の電話番号	03-3839-5861
FAX番号	03-3839-5877
推奨用途および使用上の制限	染料中間体、染色助剤、メッキ剥離剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	-
健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2 皮膚感受性 区分1
環境に対する有害性	-

注) 上記のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については「分類対象外」、「区分に該当しない」または「分類できない」に該当する。

ラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語 危険有害性情報

警告

H319 強い眼刺激
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

注意書き

【安全対策】

P264 取扱い後はよく手を洗うこと。
P280 適切な保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
P261 粉じん、蒸気、スプレー、ヒュームの吸入を避けること。
P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

【応急措置】

P302+P352 皮膚に付着した場合、多量の水と石けんで洗うこと。
P333+P313 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
P363 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。つぎに、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337+P313 目の刺激が続く場合は医師の診断、手当てを受けること。

【保管】
情報なし

【廃棄】
P501 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

他の危険有害性

情報なし

3. 組成および成分情報

単一物質・混合物の区別

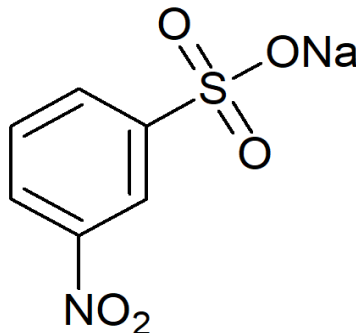
化学名または一般名
別名

分子式 (分子量)

単一物質

3-ニトロベンゼンスルホン酸ナトリウム
m-ニトロベンゼンスルホン酸ナトリウム塩
(m-Nitrobenzenesulfonic acid sodium salt)
C₆H₄NO₂SNa(225.16)

化学特性 (示性式または構造式)



CAS番号

127-68-4

官報公示整理番号

化審法：(3)-2006

安衛法：公表化学物質

分類に寄与する不純物および安定化添加物
濃度または濃度範囲

情報なし
96.0%以上

4. 応急措置

吸入した場合
皮膚に付着した場合

気分が悪いときは、医師の診断、手当てを受けること。
汚染した衣類は再使用する場合には洗濯すること。
水と石けんで洗うこと。

眼に入った場合

皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。
気分が悪いときは、医師の診断、手当てを受けること。

予想される急性症状および遅発性症状の最も重要な兆候および症状

情報なし

応急措置をする者の保護
医師に対する特別注意事項

情報なし
情報なし

5. 火災時の措置

消火剤
使ってはならない消火剤
特有の危険有害性

水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
棒状放水

特有の消火方法

熱、火花および火炎で発火するおそれがある。
激しく加熱すると燃焼する。

消火を行う者の保護

火災時に刺激性、腐食性および毒性のガスを発生するおそれがある。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。
安全に対処できるならば着火源を除去すること。
適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

すべての着火源を取り除く。
ただちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
関係者以外の立入りを禁止する。

環境に対する注意事項

密閉された場所に立入る前に換気する。

回収・中和
封じ込めおよび浄化方法・機材
二次災害の防止策

環境中に放出してはならない。
漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。
水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。
すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。
プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い 技術的対策

『8. ばく露防止および保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気

『8. ばく露防止および保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

安全な取扱いのための注意事項

保管
接触回避
衛生対策
技術的対策
混触危険物質
安全な保管条件
容器包装材料

この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
粉じん、蒸気、スプレー、ヒュームの吸入を避けること。
眼に入れないこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
情報なし
情報なし
特に技術的対策は必要としない。
情報なし
容器を密閉して冷乾所で保管すること。
情報なし

8. ばく露防止および保護措置

管理濃度
許容濃度 (ばく露限界値、生物学的ばく露指標)

未設定

日本産衛学会(2007年版)
ACGIH(2007年版)

未設定
未設定

設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

保護具
呼吸器の保護具
手の保護具
眼の保護具
皮膚および身体の保護具
衛生対策

作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
適切な呼吸器保護具を着用すること。
適切な保護手袋を着用すること。
適切な眼の保護具を着用すること。
適切な保護衣を着用すること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

9. 物理的および化学的性質

物理状態
色
臭い
臭いの閾値
融点
凝固点
沸点または初留点および沸点範囲
燃焼性
爆発下限および上限/引火限界
引火点
自然発火温度
分解温度
pH
粘度
動粘性率
溶解度
n-オクタノール/水分配係数(log Pow)
蒸気圧
密度および/または比重
蒸気密度
粒子特性
蒸発速度(酢酸ブチル=1)
粉じん爆発下限濃度
最小発火エネルギー
体積抵抗率(導電率)

固体
情報なし
情報なし
情報なし
52.3 °C : SRC (Access on Nov. 2008)
52.3 °C : SRC (Access on Nov. 2008)
217.5 °C : SRC (Access on Nov. 2008)
情報なし
情報なし
>100 °C (closed cup) (DIN51758) : IUCLID (2000)
305 °C : Bretherick (7th, 2007)
約 350 °C : IUCLID (2000)
7 ~ 8
情報なし
情報なし
水 : 200 g/L (20°C) : IUCLID (2000)
log P = -2.61 (25°C) : IUCLID (2000)
1.08*10⁻¹² mmHg (25°C) : Howard (1997)
450 kg/m³ (20°C) : IUCLID (2000)
情報なし
情報なし
情報なし
情報なし
情報なし
情報なし

10. 安定性および反応性

反応性
化学的安定性
危険有害反応性の可能性
避けるべき条件
混触危険物質
危険有害性のある分解生成物

情報なし
法規制に従った保管および取扱いにおいては安定と考えられる。
情報なし
情報なし
情報なし
情報なし

11. 有害性情報

<p>急性毒性</p> <p>経口 経皮 吸入: ガス 吸入: 蒸気 吸入: 粉じん および ミスト</p>	<p>ラット: LD50 > 5000 mg/kg (IUCLID (2000))により区分に該当しないとされた。 データなし GHSの定義における固体である。 データなし ラット: LC50 > 5.1 mg/L/4h (IUCLID (2000))であり、飽和蒸気圧濃度を超えているため粉じんと判断し、JIS分類基準の区分に該当しない(GHS分類基準の区分5または区分に該当しないとされた)。</p>
<p>皮膚腐食性/刺激性</p>	<p>ウサギを用いた皮膚刺激性試験(Draize test)において「not irritating」との記述により区分に該当しないとされた。</p>
<p>眼に対する重篤な損傷性/刺激性</p>	<p>ウサギを用いた眼刺激性試験(Draize test)において、刺激性ありとの記述と (IUCLID (2000)), EU分類でX;R36(EU-Annex I(Access on Nov. 2008))に分類されていることから区分2とした。</p>
<p>呼吸器感作性 皮膚感作性</p>	<p>データなし モルモットを用いた Maximizationtest(Directive84/449/EECB6)において、感作性が認められたとの記述があり(IUCLID(2000)), またEU分類ではR43 (EU-Annex I(Access on Nov.2008))に分類されているため区分1とした。</p>
<p>生殖細胞変異原性</p>	<p>マウスを用いた小核試験(OECD TG474)(体細胞 in vivo変異原性試験)において陰性(IUCLID (2000))であるため区分に該当しないとされた。また、複数の in vitro変異原性試験でも陰性の結果が得られている。</p>
<p>発がん性 生殖毒性</p>	<p>データなし ラット、ウサギを用いた試験において、当該物質は生殖毒性物質でないとの記述があるが(IUCLID (2000)), 試験方法の詳細なデータがないため分類できない</p>
<p>特定標的臓器毒性(単回ばく露) 特定標的臓器毒性(反復ばく露)</p>	<p>データなし ラットを用いた28日間の反復経口投与試験において、1000 mg/kg/日の投与群で一過性の流涎がみられたが、当該物質の刺激性によるものと判断された。1000 mg/kg/日の雌でメトヘモグロビン濃度の低下、全投与群(100-1000 mg/kg)の雄でヘマトクリット値の低下が認められたが、他の血液学検査項目、病理組織学的検査で造血障害を示唆する変化は認められなかった。その他、一般状態、病理学検査、血液生化学検査でも対照群との有意差は認められず、NOELは雌雄共に 300 mg/kg/日(90日換算: 100 mg/kg/日)と判断されたとの記述がある(厚労省報告(Access on Nov. 2008))。またラットを用いた 4週間の反復経口投与試験で、高投与群で尿に潜血反応が認められた以外、その他病理組織学検査、臨床検査では異常は認められず、NOAELは 1405 mg/kg/日(90日換算: 468 mg/kg/日)との報告がある(IUCLID (2000))。以上により、2つの経口投与試験結果の NOEL, NOAELは区分2のガイダンス値を超えるので区分に該当しない(経口)となるが、他経路のデータがないことから分類できないとした。</p>

誤えん有害性 情報なし

12. 環境影響情報

<p>水生環境有害性 短期(急性)</p>	<p>甲殻類(オオミジンコ)の 48時間LC50 = 8665 mg/L(AQUIRE, 2008)から区分に該当しないとされた。</p>
<p>水生環境有害性 長期(慢性)</p>	<p>難水溶性でなく(水溶解度 = 2.77E+005 mg/L(PHYSPROP Database, 2008)), 急性毒性が区分に該当しないことから、区分に該当しないとされた。</p>
<p>残留性/分解性 生態蓄積性 土壤中の移動性</p>	<p>情報なし</p>
<p>オゾン層への有害性</p>	<p>log P = -2.61 (25°C) 情報なし 情報なし 情報なし</p>

13. 廃棄上の注意

<p>残余廃棄物</p>	<p>廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化および中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。</p>
<p>汚染容器および包装</p>	<p>廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。</p>

14. 輸送上の注意

<p>国際規制</p> <p>海上規制情報 航空規制情報</p>	<p>該当しない 該当しない</p>
<p>国内規制</p> <p>陸上規制情報</p>	<p>該当しない</p>

海上規制情報
航空規制情報

該当しない
該当しない

特別安全対策

移送時にイエローカードの保持が必要。
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行うこと。
重量物を上積みしない。

その他の注意
緊急時応急措置指針番号

情報なし

-

15. 適用法令

消防法
毒物及び劇物取締法
労働安全衛生法
船舶安全法(危規則)
航空法
化学物質管理促進法(PRTR法)

危険物第5類 ニトロ化合物(第2種自己反応性物質) 危険等級2
非該当
非該当
非該当
非該当
非該当

16. その他の情報

主な参考文献

各データごとに記載した。

記載内容の取り扱いについて

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取り扱いの場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

改訂履歴 2009年 12月 4日
2010年 6月 11日
2017年 9月 21日
2018年 10月 10日

作成
適用法令 追記
整理番号 挿入
危険有害性情報、注意書きのコード記入